



「博物館健康ステーションを創る」

研修会日程

* 開催時間 10:00～17:00（受付 9:30～）*

研修番号	テーマ	会場	開催県	開催日	講師名	定員
1	博物館・民俗資料館 de 回想法	恩納村博物館	沖縄県	8月25日(水)	市橋 芳則 (北名古屋市歴史民俗資料館)	20名
		時津町民俗資料館	長崎県	10月15日(金)		
2	博物館・美術館 de 園芸療法	宮崎県総合博物館	宮崎県	9月2日(木)	岩崎 寛 (千葉大学)	20名
		佐賀県立博物館・美術館	佐賀県	10月8日(金)		
3	恐竜博物館・美術館 de 音楽療法	御船町恐竜博物館	熊本県	10月11日(月)	井上 幸一 (福岡女子短期大学)	15名
		三宅美術館	鹿児島県	11月21日(日)		
4	ユニバーサル・ミュージアム	大分大学	大分県	9月7日(火)	広瀬 浩二郎 (国立民俗学博物館)	20名
5	美術館 de やさしい日本語	福岡市美術館	福岡県	9月13日(月)	村田 陽次 (東京都生活文化局) 高尾 戸美 (多摩六都科学館)	20名

【留意事項】

- 来場当日は感染防止対策(座席間隔の確保、換気、消毒、検温)を行います。
- 来場の際は、必ずマスク着用、手指消毒、検温、健康観察カードの提出のご協力をお願いします。
- 感染症拡大の状況により、研修会が中止となる可能性もあります。

【人権の保護及び法令等の遵守への対応】

本プログラムは、九州産業大学「ヒトを対象とした研究に関する倫理委員会」の承認を得た上、博物館浴の効果実証研究のため、参加者の血圧・脈拍データに加え唾液アミラーゼなどの採取を行います。具体的には、参加者に対してプログラムの内容について、口頭・文書で説明し、同意をいただいた後に実施します。なお、採取したデータについては、個人情報が特定されないよう匿名化した上で、専用の記録媒体に保存し、実施責任者以外が見ることができないようにします。

■主 催：「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会(九州産業大学美術館く代表>、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館) ■共 催：恩納村博物館、宮崎県総合博物館、佐賀県立博物館・美術館、御船町恐竜博物館、三宅美術館、福岡市美術館

申 込 方 法	受講希望の方は、① 件名:学芸員研修会(テーマ名) ② 内容:氏名、所属、職名、この研修会に期待することを書いて、E-mail:museum03@ip.kyusan-u.ac.jpへ、お申込みください。 なお、応募多数の場合は抽選とします。受講決定可否はメールにて通知します。		
参 加 対 象	博物館関係者、医療従事者、大学教員等(開催県外からの申し込みはできません)		
問 合 せ 先	九州産業大学美術館事務局 E-mail:museum03@ip.kyusan-u.ac.jp		受 講 料 >>> 無 料
事業責任者	緒方 泉 (九州産業大学地域共創学部教授)		



九州産業大学美術館
Museum of
Kyushu Sangyo University

〒813-8503 福岡県福岡市東区松香台2-3-1
tel 092-673-5160 / fax 092-673-5757
ksumuseum@ip.kyusan-u.ac.jp
http://www.kyusan-u.ac.jp/ksumuseum/



令和3年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」

令和3年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」

博物館を活用した「健康寿命」増進プログラム 開発のための学芸員研修会

「博物館健康ステーションを創る」



2015年11月、ユネスコ総会で採択された「博物館とコレクションの保存活用、その多様性と社会における役割に関する勧告」の中で、「ミュージアムは社会全体に語りかけるゆえに社会的な繋がりやと団結を築き、市民意識の形成また集団のアイデンティティを考える上で、重要な役割を持つ重要な公共空間である。ミュージアムは、恵まれない立場のグループを含め、すべてに開かれた、あらゆる人々の身体的・文化的アクセスを保証する場であるべきである」と提言している。

超高齢社会へひた走る日本は、団塊世代が75歳以上になる「2025年問題」に続き、団塊ジュニア世代が全て高齢者になる「2042年問題」が浮上し、社会保障費の増大、勤労世代の減少が大きな課題である。

そこで、本事業では、今後社会的処方場となることが期待される、博物館を活用した「健康寿命」増進プログラム開発の企画立案・実施運営の方法を学ぶ研修会を開催する。

カナダでは、「処方箋に博物館と書く」という新たな医療保健制度が始まっている。「知的刺激/学び/楽しみの場」である博物館が、「リラックス効果の場＝博物館浴の場」という新たな価値創造が可能になる「健康増進プログラム」を開発することで、地域の高齢者医療にどのように貢献できるかを、参加する学芸員が考える機会を提供したい。

* 博物館浴：博物館見学を通して、博物館の持つ癒し効果の人々の健康増進・疾病予防に活用する活動

研修会の特徴

- 現職学芸員のニーズに沿った研修内容です
- 講師陣が多彩で、博物館学の今を知ることができます
- 研修会は自由選択、1講座でも受講できます
- 研修会は九州・沖縄8県で開催します
- グループワークが多いので、館種を越えた人的ネットワークができます

受講料 >>> 無 料

■主 催：「2042年問題」解決に向けた社会資源を活用した「健康寿命」増進プログラム開発とリンクワーカー人材育成事業実行委員会(九州産業大学美術館く代表>、九州大学総合研究博物館、福岡市博物館、福岡市美術館、海の中道海洋生態科学館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館) ■共 催：恩納村博物館、宮崎県総合博物館、佐賀県立博物館・美術館、御船町恐竜博物館、三宅美術館、福岡市美術館